

## 3-01 協働による地域づくり



### 視 点

- 思いやりとぬくもりの地域コミュニティを再生すること
- 市民活動、市民参加、ボランティア活動が活発になること

### 3-01-01 市民活動

#### 令和8年度の目指す姿

- 市民活動やボランティアが市民全体に浸透・定着し、市民活動団体等は安定した団体の運営がなされ、主体性を持ってまちづくりに取り組み、互いに協力・連携しながら活動を進めています。

#### 前期5年間の検証

- 元気なまちづくりを目指した自発的な活動や多くの市民の利益増進につながる市民活動を推進し、積極的な社会貢献活動を支援していますが、団体構成員のみを対象とした私益的事業主体の市民活動にシフトしつつあることや資金についてもクラウドファンディングや他の助成制度を活用するなど、利用が低迷しています。
- 市民活動団体の活動状況や抱える課題などを把握するためのアンケートの中では、団体における人材や後継者不足などへの対応が必要とされています。

#### 現 状 と 課 題

- 市民活動団体の運営については、会員や後継者などの人材の確保や収入源の確保が主な課題です。
- 新型コロナウイルス感染症の影響がある中、感染対策を講じた上で積極的に活動している団体がある一方で、活動が制限され停滞している団体などについては、運営維持に支障をきたしている状況です。

#### 後期5年間の方向性

- ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、市民活動団体やNPO法人などと連携しながら、市民力を発揮するための地域における人材育成、人づくりを重視した支援方策の検討を進めていきます。
- 団体やボランティア活動が積極的に推進されるように、広報活動など環境づくりに努めていきます。

#### 数 値 目 標

※現状：R2

| 指 標 項 目           | 現状 | R4  | R5  | R6  | R7  | R8  |
|-------------------|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 市民活動振興助成金申請件数 (件) | 2  | 3以上 | 3以上 | 3以上 | 3以上 | 3以上 |

### 3-01-02 町 内 会

#### 令和8年度の目指す姿

- 留萌市との連携・協働により地域を担う人材が育成され、町内会のコミュニティ活動が促進されています。

## 3-01 協働による地域づくり

## 前期 5 年間の検証

- 町内会への加入促進を目的として、転入者向けのパンフレット作成や市窓口への配置、広報誌やホームページなどのアプローチにより、加入促進を図っています。
- 役員のなり手不足、少子高齢化に伴う加入率の減少、行事運営の困難、新型コロナウイルス感染症の影響による町内情報の把握の困難、若者の会合の不参加（アパート、マンション等）などが課題となっています。

## 現 状 と 課 題

- 町内会役員の高齢化や担い手不足が深刻です。
- 町内会加入率が中々向上せず、特にアパート等での未加入が見受けられます。

## 後期 5 年間の方向性

- 町内会と行政が相互に協力し、協働のもとコミュニティ活動が促進されるよう支援に努めていきます。
- 市民が健康でいきいきと暮らし続けられるよう、引き続き、地域老人クラブの活動支援を継続していきます。
- 町内会加入率の低下や役員の高齢化・担い手不足など町内会が抱える課題に対して、町内会長会議等を通じて情報を共有しながら解決を図っていくとともに、協働の推進に必要な地域コミュニティを守り育てていきます。

## 数 値 目 標

※現状：R2

| 指 標 項 目    | 現状   | R4   | R5   | R6   | R7   | R8   |
|------------|------|------|------|------|------|------|
| 町内会加入率 (%) | 76.0 | 76.2 | 76.4 | 76.6 | 76.8 | 77.0 |

## 3-01-03 コミュニティセンター

## 令和 8 年度の目指す姿

- 地域住民の拠点施設として確立され、コミュニティ活動や世代間交流も活発になっています。

## 前期 5 年間の検証

- 運営協議会には、適切な管理運営と経費の効率化に努めていただいておりますが、町内会加入率の低下により、管理人などの運営協議会の担い手不足などが課題となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響などにより、施設利用者の減少や協働事業の未実施など、地域コミュニティを高める活動が停滞しています。

## 現 状 と 課 題

- 人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響などから、施設の利用率が落ち込んでいます。
- 施設の老朽化が進んでおり、今後のコミュニティセンター 6 館体制の必要性などについて、検討していくことが重要です。

## 3-01 協働による地域づくり

### 後期5年間の方向性

- 安定した施設の運営・管理を行うため、老朽化の状況を把握しながら、各運営協議会と活性化策を検討していくとともに、指定管理者による適正な管理を行うことができる委託料の在り方、管理方式の在り方を検討していきます。
- コミュニティセンター施設の集約化も含めた統廃合や建替えの方向性について検討していきます。

### 数値目標

※現状：R2

| 指標項目                          | 現状   | R4   | R5   | R6   | R7   | R8   |
|-------------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 市民一人当たりのコミュニティセンター年間延利用回数 (回) | 0.60 | 1.00 | 1.02 | 1.04 | 1.06 | 1.08 |

### 3-01-04 男女共同参画

#### 令和8年度の目指す姿

- 男女共同参画の実現に向けて、男女が個人として尊重され、ともに考え、ともに地域づくりを担いながら、性別による差別的取り扱いを受けることなく、個性や能力を発揮しています。

#### 前期5年間の検証

- 男女共同参画についての意識改革を推進するために、講演会やあらゆる機会を通じて啓発を行っています。
- 留萌市の審議会等の女性登用率が伸び悩んでいます。

#### 現状と課題

- 女性の社会への参画が進んできてはいるものの、十分とはいえない状況であり、政策や方針決定の場に女性の意見が反映されるよう、留萌市の審議会等への女性委員の登用を一層推進することが必要です。
- 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないと感じる市民が多く、また、家事・育児・介護等の家庭での役割の多くは女性が担っているのが現状のため、男女ともに仕事との両立を図りながら、家庭生活や地域活動にも参画できる環境の整備が必要です。

#### 後期5年間の方向性

- 「留萌市男女共同参画基本計画」が令和4年度をもって終了することに伴い、これまで展開してきた施策を基盤として、新たな課題も踏まえつつ、地域における新型コロナウイルス感染症の影響や地域社会のデジタル化への対応、ジェンダー平等の実現に向けた潮流など、社会情勢の現状における課題解決を視点に、新たに計画を策定し、家庭、地域、職場などあらゆる機会を通じて、意識の啓蒙や浸透に努めていきます。

### 数値目標

※現状：R2

| 指標項目                   | 現状   | R4   | R5   | R6   | R7   | R8   |
|------------------------|------|------|------|------|------|------|
| 委員会・付属機関参加者の女性構成比率 (%) | 29.6 | 38.4 | 41.3 | 44.2 | 47.1 | 50.0 |